

地方人ロビジョン・地方版総合戦略の 策定に当たったの参考資料（抜粋）

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

長期ビジョン【2060年まで】

総合戦略【2019年度までの5か年】

基本目標

政策パッケージ

I. 人口減少問題の克服

◎2060年に1億人程度の人口

在確保

◆ 人口減少の歯止め

- ・国民の希望が実現した場合
の出生率(国民希望出生率)
=1.8

◆ 「東京一極集中」の是正

II. 成長力の確保

◎2050年代に実質GDP成長率

1.5~2%程度維持

地方における安定した雇用を創出する

- ◆ 若者雇用創出数(地方)
2020年までの5年間で30万人 等

地方への新しいひとの流れをつくる

現状：東京圏年間10万人入超

- ◆ 地方・東京圏の転出入均衡(2020年)
- ・ 地方→東京圏転入 6万人減
- ・ 東京圏→地方転出 4万人増

四张

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆ 結婚希望実績指標 80%(2010年68%)
- ◆ 夫婦子ども数予定(2.12)実績指標 95%
(2010年93%)

將

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ◆ 地域連携数など

※目標数値は地方版総合戦略を踏まえ設定

【2060年までを基本】

地方版総合戦略【2019年度までの5か年】

中長期展望

基本目標 (注1) と基本的方向 (注2)

(注1) 実現すべき成果(アウトカム)に係る数値目標を設定(定性目標の場合は客観的な指標を設定)
(注2) 目標達成のために講ずべき施策の方向を記載

※施策ごとに重要業績指標(KPI)を設定。

具体的な施策

I. 人口の現状分析

- ・人口動向や将来人口推計の分析

II. 人口の将来展望

- ・目指すべき将来の方向性や施策の方向性を踏まえた人口の将来展望

地方における安定した雇用を創出する

地方への新しいひとの流れをつくる

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る
とともに、地域と地域を連携する

地方人口ビジョンの策定イメージ

- ・国の「長期ビジョン」を勘案しつつ、人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示。
- ・対象期間は長期ビジョンの期間（2060年）を基本。（地域の実情に応じた期間の設定も可）

1. 人口の現状分析

ア 人口動向分析

（総人口や年齢3区分別人口、出生数、死亡数、転入数、転出数等の時系列の状況を分析）

イ 将来人口の推計と分析

（出生率や移動率などについて仮定値を変えた総人口推計の比較や将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度の分析）

ウ 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察

2. 人口の将来展望

ア 将来展望に必要な調査・分析

（住民の結婚・出産・子育てや移住に関する意識・希望等）

イ 目指すべき将来の方向

（目指すべき将来の方向性や住民の希望を実現するための基本的な施策の方向性）

ウ 人口の将来展望

自然増減

（希望出生率などに基づく出生率等）



社会増減

（移住希望などに基づく移動率等）

総人口や年齢3区分別人口等の将来を展望